

国語科学習指導案

授業日 令和6年 5月20日(月)

学習者 6年3組 38名

授業者 本間 啓介

1. 単元名 「笑うから楽しい／時計の時間と心の時間」

2. 単元の目標

- ◎原因と結果など情報と情報との関係について理解することができる。(知(2)ア)
- ◎事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に抑え、文章全体の構成を捉えて用紙を把握することができる。(思C(1)ア)
- 文章野構成や展開、文章の種類とその特徴について理解することができる。(知(1)カ)
- 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。(思C(1)オ)

3. 単元の評価規準

知識及び技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。 ・原因と結果など情報と情報との関係について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に抑さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に抑さえ、学習課題に沿って自分の考えを伝え合おうとしている。

4. 単元計画と学習評価(全7時間)

時	学習内容	学習評価(知・思・主)〈方法〉
1	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の見通しをもち、自分の目標を立てる。 ・新出語句の意味を調べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。(知)〈ノート〉
2	<ul style="list-style-type: none"> ・「笑うから楽しい」を筆者の考えと事例の関係に着目しながら読む。 ・読んだ感想を友達と伝え合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・原因と結果など情報と情報との関係について理解している。(知)〈ノート・発言〉
3 4	<ul style="list-style-type: none"> ・「時計の時間と心の時間」を読み、初発の感想や学習課題を考える。 ・「時計の時間」と「心の時間」とはどのようなことかを読み取り、まとめる。 ・自分達で疑問に思ったことを読み取り、考える。 ・筆者の主張やそれを支える事例など、全体の構成を読み取り、まとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。(知)〈ノート・タブレット〉 ・原因と結果など情報と情報との関係について理解している。(知)〈ノート・タブレット〉 ・「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に抑さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。(思)〈ノート・タブレット・交流〉
5 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者がなぜ複数の事例を挙げながら、「心の時間」の特性について説明したのか、その意図を考え伝え合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に抑さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。(思)〈ノート・発言・交流〉
6	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の主張に対してどのように考えたのか、共感・納得したり、疑問に思ったりしたことを自分の経験を踏まえてまとめ、友達と伝え合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に抑さえ、学習課題に沿って自分の考えを伝え合おうとしている。(主)〈ノート・発言〉
7	<ul style="list-style-type: none"> ・「昼休みは長い方がよいか、短い方がよいか。」というテーマで、主張と事例の関係を明らかにしてまとめ、伝え合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に抑さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。(思)〈ノート・交流〉

5. 本時でめざす子どもの姿

「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に抑さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。

【思】〈ノート・発言・交流〉

6. 仮説との関連

- ① 一人一人が目標をもち、ゴールまでの道筋をつくったり、見通しをもたせたりするための工夫（仮説1）
- ・本時の学習のゴールは「説得力を増すねらいがあった。」につなげられるように、筆者の意図を自分で考え、説明できるようになることとすることで、何を考えるのかを明確にする。
 - ・自分の主張を支える事例を適切に選べるようになれば、より多くの人を納得させられるようになることを伝え、この時間で自分がどこまでできるようになりたいのか目標を立てる。
- ② 「できた！わかった！成長した！」を実感するための手立て（仮説2）
- ・「時計の時間と心の時間」の学習の最初と最後に感想を書く時間を設定することにより、自分の考えがどのように広がったり、深まったりするのかを実感する。
 - ・本時の最後に振り返りを書く時間を設けることにより、目標を達成することができたどうかを考えることにより、これからの次時に意欲をつなげる。

7. 本時の学習展開（5/7）

	児童の学習活動	評価□ 留意点※
導入 7分	<p>○前時の学習を振り返る。</p> <p>○4つの事例を確認し、1番納得した事例1つに挙手することで自分達にとってわかりやすい事例を知る。</p> <p>㊦ 筆者はなぜこの四つの事例を用いたのだろうか。</p> <p>○自分の主張を支える事例を適切に選べるようになれば、より多くの人を納得させられるようになることを伝える。</p> <p>○本時の自分の目標を考える。</p>	<p>※4つの事例の中から1つだけを選ぶことによって、人によって納得するポイントや感じ方が異なることに気付かせ、課題意識につなげる。</p> <p>②課題設定の工夫</p> <p>※次時に、自分で論説文を書くことを意識することで、できるようになりたいという意欲につなげる。</p>
展開 33分	<p>○個人・ペア・グループ思考</p> <p>・4つの事例を用いた理由を考える。</p> <p>・「説得力を増すねらいがあった。」という言葉につなげられるように、筆者の意図を自分で考え、説明できるようにする。</p> <p>○全体交流。</p> <p>・児童が考えたことや、それぞれの事例の長所や短所について交流し、考えを深める。</p> <p>○なぜ4つも事例を用意したのかを考える。</p>	<p>※活動形態（個人、ペア、グループ）、また使用するアイテム（紙やノート、タブレット）なども自分で選択・決定する。</p> <p>④自己決定 ⑤アイテム</p> <p>※それぞれの事例の長所だけでなく、短所に目を向けさせることにより、複数の事例が必要なことに気付かせる。</p> <p>□事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。(思)〈ノート・発言・交流〉</p>
終末 5分	<p>○学習をまとめる。</p> <p>㊧ 想像しやすいものや根拠のある事実に沿った事例を用いることで、説得力を増すねらいがあった。</p> <p>○学習を振り返り、自分の目標を達成できたかを書く。</p>	<p>※まとめは児童の言葉でつくることによって、達成感をもたせる。</p> <p>※もし時間が足りない場合には、◎、○、△などの記号で振り返る。</p>